

社会

単元を見通して、「見方・考え方」を働かせながら深い学びにいたる授業づくりを目指します！

生徒の実態を踏まえ、学習内容を構造化し、生徒の問題意識の変化を想定しながら単元を構想し、学習をデザインしていきます。その際に、深い学びの技法を手立てとして、学びの質の向上を図ります。



全県部長
魚沼市立広神中学校
校長 小森 一秀

▶上越地区

深い学びにいたる授業を目指して！！



柏崎市・刈羽郡中教研
柏崎市立東中学校

新保 隆之

第 1 回 研究推進委員会で、目指す深い学びの姿を共有しました。「学び合い」を「深い学び」につなげるための手立てや働きかけを探りながら、研究を進めていきます。

第 1 回 研究推進委員会の様子



▶新潟地区

「深い学びの技法」を共有！



新潟市中教研
新潟市立葛塚中学校

木村 伸

単元を通したねらいを達成するために、「深い学びの技法」を活用し、社会的見方・考え方を深めていくかを、模擬授業などを通して明確にしています。

研究推進委員会の様子



▶中越地区

教師の「問い」で「深い学び」へ！

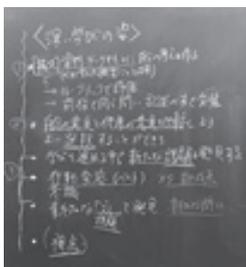


長岡市・三島郡中教研
長岡市立東中学校

山田 圭祐

中越地区では、①教師が「構造的な問い」を準備すること、②生徒に「価値判断」「意思決定」の場面設定をすることで、「深い学び」へつながるような授業を構想しています。

第 2 回 研究推進委員会の様子



▶下越地区

深い学びに迫る手立てとは！？



五泉市・東蒲原郡中教研
五泉市立五泉中学校

高橋 保嗣

推進委員会で深い学びに迫るための手立ては何かという事を共有しました。その中で「自分ごと」「言語活動の充実」「深める問い」を 3 本柱に掲げ、研究を進めていくことになりました。

研究推進委員会の様子

